

小倉山通信

平成28年2月26日
No.41

翠星フラッシュアップ

2月19日(金) 朝に、翠星フラッシュアップがありました。

はじめに、表彰がありました。この週は次の学級にそれぞれの最優秀賞が与えられました。

- 1 A 切り替え向上ウィークパートⅡ 最優秀賞
1 C 提出物向上月間パートⅡ 最優秀賞

スピーチのテーマは「3年生へのお礼」です。

○A組

- ・浅利 天夢さん

私がお礼したいひとは卓球部の先輩です。3年生は二人しかいなくて、他の人にも教えなくてはいけないのに、卓球が初めてな私にいろいろなことを分かりやすく、できるまで教えてくれました。私はカットマンなのでみんなの倍、努力をしなければいけません。だからその分、3年生にたくさん迷惑をかけてしまったと思います。だから、教えてくれたことを試合で生かしたいです。

○B組

- ・佐々木愛結さん

私が3年生に感謝していることは、同じ部活の先輩に言われた一言についてです。3年生が引退して、部活の事で悩んでいた頃、ある先輩が「3年生はつらいことを乗り越えてここまで来たんだから、1・2年生にもできるよ。頑張っ！て！」と言ってくれました。その言葉に励まされ、今でも毎日楽しく部活を続けています。先輩には、感謝の気持ちと高校でも頑張っ！てほしいという思いでいっぱいです。

- ・藤村諒さん

私は野球部に所属しています。3年生は部活の中心となって活動し、一番声を出して練習に取り組んでいました。私たち後輩のことを考えくれて、できないことも親切に教えてくれました。私は、自分のことだけでなく、チーム全体のことを考えて行動するということを学びました。私はこれから2年生となり後輩もできるので、3年生のように後輩に親切にしたいと思います。

○C組

- ・石郷岡世成さん

私は、英会話部に所属しており、4月に入った時は、すべてのことが初めてでとても苦労しました。でも、3年生の先輩が私に分からない所をすべて教えてくれて、とても心強かったです。更に、3年生の先輩が英会話部を引っ張ってくれたことも心強かったです。私は来年2年生になるので、

先輩から教わったことを来年入ってくる後輩に教えたいと思います。

- ・藺藤佳穂さん

私はテニス部に所属しています。テニス部の3年生の先輩は3人ととても少なく、一緒にプレーすることができた期間も短かったです。しかし、先輩方は、1年生の一人一人の打ち方を見て、分かりやすく的確なアドバイスをしてくださいました。先輩方がプレーする姿はとてもカッコよく、その背中からペアや仲間を信じて強い心をもってプレーすることの大切さや同じ感情を共有しあいプレーすることの大切さを学ぶことができました。

感想発表は3名でした。

○A組

- ・伊藤奈菜子さん

私はこの6人の話を聴いて天夢さんの話に感動しました。同じ部活動に入っているので私も頑張りたいです。

○B組

- ・鈴木京さん

私は藤村諒さんの意見がよく分かりました。私も後輩ができるので親切にしてあげたいです。

○C組

- ・荒川青空さん

私は世成さんの意見と似ていて、私も最初入学した時は何も分からずに困りましたが、3年生の先輩が色々教えてくれて、後輩が入ってきたらその教わったことを後輩に継いでいきたいです。

この後、男女別にソプラノとテノールに分かれて校歌合唱を3番まで歌いました。授業で練習しているので、とてもよい合唱の響きとなりました。

PTA授業参観 開催

2月24日(水)、PTA授業参観を開催しました。多数の保護者の皆様、ご参観ありがとうございました。

1年生は、最初にホールに集まり、この一年の振り返りを、照井先生作成のビデオを鑑賞しました。その後、学級に戻って、友達から感謝の言葉を書いたメモや、自分のよいところを書いたメモをもらっていました。

3年生も、この一年間を振り返りつつ、最後は、1年生から3年生までの全員の成長画像を見ました。小さかった1年生から成長の3年生へ、如実に成長の跡が分かる個人写真でした。

2年生は、それぞれの学級で授業を行いました。理科、国語、英語、技術の授業でした。技術では、マイコンロボットに自分のプログラムを入れて、自由自在に動かす、指令を与えて、イメージ通りに動



かす、のがねらいでした。自分のイメージ通りに動いたときは、感動の声がパソコン教室に響いていました。

学校評議員会

2月25日(木)の午後に学校評議員会を開催しました。評議員は佐々木健氏(元角館中学校PTA会長)、小笠原幹朗氏(元秋田市小・中学校長)、須田綾子氏(元大仙市立小学校長)、の3名でした。もう一人の評議員である角館高校長の青柳徹氏は、諸事情により欠席でした。



はじめに、5時間目の授業を一覧しました。

その後、会議室にて、校長、教頭、教務、生徒指導主事、生徒支援担当の職員で協議会並びにご指導をいただきました。評議員の各氏からいただいた感想、ご指導をお知らせします。

◇教頭：授業の感想、その他についてご指導をお願いいたします。

◇小笠原委員：今日は授業を見せていただきありがとうございました。7月に来た際も同じ事を言いましたが、私は授業を見る際にまず、生徒の足を見ます。小学校などでは、足がはみ出たり、だらしない格好で授業を受けて子どもがいます。本校では、どのクラスの足もきちんとしており、だらしない足は一つもなかったです。そして授業に向かう表情がよく、授業に取り組んでいました。授業で大事な全員が授業に参加する、という手立てがとられてきたのだらうなあ、と思って参観しました。

3年生の数学で、まとめの問題をやっていました。HさんとSさんのやりとりで、SさんがHさんに「これはどうしてこうなるのだ？」と質問していました。このような子どもたち



同士のつながりがいくつか散見されました。聴きたいことを聴ける、このムードが良いと思います。

ただ、気になっていたのは、全学級コの字型での授業隊型なのですが、真ん中が広すぎてダンスができるくらいの広さです。もう少し、4人グループになったときに、隣り合わせが近い位置にいただければと思います。このような位置に子どもたちの心の関係が表れます。位置が近い方が心がぎゅっと近づくように思います。

子どもたちは適切な課題の下で、興味関心を切らさずに、授業に取り組んでいました。

◇須田委員：先回よりも更に子どもたちが落ち着いていると思いました。思考力を高める授業を行っていることだと思います。子どもたちの顔がさわやかで、聴くという姿勢ができている、目が、視線が、先生をしっかりと見つめている、を感じました。疑問は、プリント学習や単元評価問題などは、まず個でやって、その後にグループになるのが理

想かな、と思いました。ただ、春からこの隊型で行ってきたことの積み重ねで、学習が成り立っていることも感じました。ある学級で女子生徒が起立して、分からないような生徒に教えていました。その人間関係がスムーズで学習の継続の成果だと感じました。音楽の授業で、1年生と3年生が一緒になって歌う姿、とてもよいと感じました。(3年生は自習だったので、合同音楽を行いました。)

◇佐々木委員：授業形態がどの学級でも自然に行われていることを見ました。また、真ん中の広い部分を使って、生徒を座らせて授業していた学級がありましたが、



創意工夫にあふれているなあ、と思いました。いろんな授業で、取り組む姿勢は前よりも更に真剣になっていました。しかし、音楽の授業で歌声は素晴らしかったのですが、一人だけ後ろのついでに背中をつけていた生徒がいました。授業に向かう先生方の教材研究は、生徒が分かりやすいように組んでいることが感じられました。

◇教頭：この後に確認したいことについて。

◇小笠原委員：今の授業のお話について。3年生のSさんについて、他の3人の生徒を面倒を見ていて先生の代わりをしていましたが、これはちょっとまずいと思いました。子どもたちの中で「教える役」「聴く役」があるのはまずいと思いました。先ほどもお話ししましたが、分からない生徒が自ら聴くという姿勢、これ教えてください、という関係を築くべきだと思います。分からないことがあったら聴くのだよ、という姿勢を保ってほしいということです。

10月23日の研究会でもたくさんのグループやコの字型の形態がありましたが、欲を言えば、その形態のまま先生と生徒のつながりが多く、生徒と生徒の関係を、課題を通してつなぐ、という授業を目指していただければと思います。

◇校長：コの字型や4人グループですが、授業の最初の小ドリルの時間や単元評価問題等を行う時は、コの字ではなく一列にして、行っています。先生方は、割と自由に形態を、目的に応じて行っています。

この後、教頭より、前学期の学校評価(生徒・保護者)、後学期の速報値が示された資料についての説明がありました。

さらに、学校報に話題がいき、伝えたいことの多さについて、より簡単に、より読みやすいものを、ということが、ある中学校の事例を元に提案されました。

授業における「学び合い」については、委員から様々な教育指導観が出されましたが、小笠原委員が最後に「一人も一人にしない」「『学ぶ』ことについて個人的かつ孤立的であってはならない」ということの確認がされました。

この一年を振り返って、まさに文武両道の角館中学校の生徒が平成28年度も旋風を起こしてほしいという願いで評議員会は終わりとなりました。学校運営に関してご意見・ご提案・ご指導をいただいた評議員の先生方にこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。